

ハライラニュース4

ねえ みんな いん?
 いってねん?
 いがへん?
 いってねんじんか?
 いこうよ?
 ハライラ大舞台

東京シブヤ区日暮が丘の人たち。
 何もしようとしてたんだろ、て思う
 私たちいつのまにか、あの人たちに
 ワルモノ、っていうし、テラは、てしほいせうだ
 そんなことが、サナカ、いやだ
 パワダンしかけて、人殺すなんて
 キュー、って叫びたくなるほどこわい事だぞど
 けど、なんでそんな事しは、たんが
 「ほんを?」、て聞いてみたい。

人の犠牲の上に生きてる、て気持ち悪いんだ。
 ホンデモ、私達、知らんうちにどうしてるかもしん。
 ぞめこと、教えようとしてくれないよ、お前がある。
 そんなあの人の思いやねん方が早くにこめられてる。
 ぞしてねの中のお前が、自由をこめられてしまった。

こんなおよくないんだ?
 断ってしま、ちやあよくないんだ
 そんなこと、いほの私の想い。

ねえ、みんな、い、ておれへん。
 ほんさ、その事についてしゃべってほる人の顔
 生身で僕、にみいひん?
 ほんで一番でも、ちよ、とでもしゃべれたら
 はんか、あ、てみまうよ。
 ねえ、みんな、い、ておれよあ、

FROM YEMO

9:5プログラム

プログラム・南場 PM 0・30 由公 PM 1 (勵行)

▼ 獄中者からのメッセージ (25分)

1 南場あいつ代り・海牙風かけあい (10分)

へハハハラ大集合て何やのん

2 コンサートVOL.1 (50分)

ロックー 岡本民とザ・ストライキ

フォーキー 平田隆

フリージャズとおどりー 山本公彦とデカルコ・マリ

& 西村一平

3 スライドへ東アジア反目武装戦線の軌跡 (20分)

支援連絡会設からの報告ロ (5分)

4 シンポジウムへ東アジア反目武装戦線と私 (60分)

5 一分面アピール (15分)

6 休憩 (10分) — PM 4:00頃

※この休憩時間には座席の入れ替えをおねがいします。最中の方は左へ。

前列の方はうしろへ。二ヒン

立って、適当に移動し、ちが

う角度の場所にお坐り下さい。

7 おどり&うたー花柳幻舟 (20分)

8 一分面アピール (15分)

9 コンサートVOL.2 (80分)

ロックー 脳細胞バンド

フォーキー 中川五郎・豊田勇造・ホニウシ

10 一分面アピール (15分)

11 獄中者からのメッセージ (25分)

・大道寺将司・片岡利明

・黒川芳正・荒井まり子

・大森勝久 (丸拘)

終了 7:10頃



をみて、電話で問い合わせたのが、そもそものはじまり。とも子さんのような賛同者が今四人も出てきています。



「一分間アピール」で どっこするのん

▼ 集会の大ぜいの前で、手をあげて発言するのは、勇気がいるで、場はれしてるく、話の得意な人だけが、いつもしゃべることになる。それが、きき手・しゃべり手を固定し、分断し、気安くしゃべる空気をいよいよなくさせる。

▼ 「ハラハラ大集会」へ、来た一人一人が、集会を創る「なんてなうかは、まず、できるにけたくさん」の人が発言できる機会をつくらんとアカン。とくにいつもはしゃべらない人にも、しゃべってもらおう状況をつくらんとアカン。

それ、どうしたらエエンか、というので出てきたのが、「一分間アピール」のやり方。

▼ 「一分間アピール」は、持時間を60秒以内に限定することで

① 発言する人の時間的平等をはかる。

② すくなくとも四、五〇人が発言できるチャンスをつくる。

③ しゃべりなれてない人には「ほんのひとこと」でよいという気易さ。他の人のをみて、「よし、わたしも」という踏切り。

④ 発言がれた人にとつても、おもいあまつて時間たらず、後半になつてからの必死の早口も及ばず時間切れがきたとき、あがき、みんなの大笑いと親しみを呼ぶ。

⑤ さてそこで、ことばをしゃべるだけに、60秒の時空固きフルに使つての、いろんな工夫が当然でなくては。ちよつ

と即興的に用意して、例えば、ホスターを掲げて会場通路を一周するとか、数人出てシニアレヒコールをするとか……

⑥ せうなること場内きき手の方も積極的にきいてくれる、へんま、一分毎の変化をにのしみながら、次は何と待ちうけるーとなれば、それこそバングイ。そううまくいつたらスゴイけど。どっか根拠を。

一分間アピールの要項は……

① 60秒以内厳守。50秒で予告が出る。

② 内容は、何でも自由（集会のテーマに即せずともよい。集会でそれが発表されること、集会への賛同であり、集会の大きさとひろがりの表現がよい）

③ 60秒は、文字で二百字ぐらい。（アナウンサーは四〇〇、六〇〇字の新開持音らんしゃべる）。念のためメモをつくつてみて、タイムをはかつてみる程にやれば、一か全。

「受付で紙とマジックをかりて、ホスター、プラカード、さらに動作などをつけ加えたり、友人とのコンビ・グループ一括で、例えは寸劇など（一人一分が一かある毎に制限時間は30秒ほど加算）。（クレーン格と五分といわわ）即興的に。

あなたも、ぜひ儲入りでひとことを！ 下手くそ歓迎！

④ フシギなもんで、いろいろちよつぱり工夫したアピールの中にまじると、目並・紋切型アピールも、がぜんイキキと聞える。ヘタでも上手でも、工夫なしでも大趣向がこらしてあつても、要は、それそのものよしあしでなく、相厚にそして全体で引き立てあうようになるのが「一分間アピール」の真骨頂。



▼ 「一分間アピール」の中心は、受け手へ、のちのちのとき、夜の夜に集会にはあることがあります。伝ふるもよ

▼プログラム兼用でこれはハラハラニュース4人(終刊)号のつもり。これをかいてる8月28日現在、常時連日、三四人が事務所にのりかいて、最後の定めにいっわらわです。

▼8月25日 最後の実行委相談会 ①プログラム決定。②集会での役割分担(担当者)の確定。当日までの準備事項と進行についての確認。③シンポジウムのリハーサルの検討(当日出来てきたへ資料集をもとに)をやりました。

▼シンポジウム
リハーサルでは、何となく固く、どうもうまくいきません。それかみんな大心配で、自分が司会になつたようにやきもき。というふうな形のおかげで、誰もがいよいよ集会やという熱気で盛り上つてきました。

(シンボムの司会が当つたMさん「いやあ、キレイゴトのクリクリ文より、しつやめつちやかでも、それが中味やつたうその通りの方がエエやん。ここに集つてるみんなの心」がシンボに反映できたら、シンボのやり方(表現)が未熟でも下手でも、何が判つてもらうやろ)そしてシンボ参加への心得として、ハラスワンということが了承されました。

▼つまり 報告(①の立場から、なり②の立場から、なり③の自分の意見を)。ハラスワンするといふことなしやべり方(例をば③の立場からの報告に対して質疑という形で内容に注文をつけ、その修改善、補訂を報告者から求めるのではなく、自分の意見をハラスすること、報告をひきかき、きかかし、深めるーマイナ



スでなくハラスする」ということです。

(当日、なかうまくいかんと思いますが、あなただけのハラスワンで助けて下さい。万が一にもおもしろく進行したら前代未聞の成果！)

大へんお平向ですが、獄中者メリセージも(とくにそのコメントも)含めて、お手許にお届けしたへ資料集へご通読下さい。

↓ 一分間アピール

▼どんな申込みで下さい。受付、またはアピール係(3人います)へその旨を伝え、番札をもちつて下さい。(3頁参照)

大へん恐縮ですが、花見される方に30分程度、花見係として協力していただきたいのです(特別事情の場合は別)その受付時間などについては花見担当者として調整下さい。

アンケート記入をせよ

名前が差支えある方は、版名でもかまいませんが、今度通信をお送りすることがありますので△印を。

▽取扱いを慎重にし、部外秘とし

▽帰路、受付のアンケート箱へ投入下さい。

ハラハラな委員会へもせよ

▽井当申込券を受付へ三時までにはねがいます

▽終ア府全員でイスを片付け、コザをひいて、交際会をやりませう。(井当申込券とも参加できます(趣意))

速来者、宿泊者は受付で

▽その旨、お申出下さい。(宿泊は3日までに電話申込み)

一部 変わります! スロウラムが

12:45 獄中者からのメッセージ —〈25分〉—

1:15 開会のあいさつ 漫才風かけあい —〈10分〉—

1:30 コンサート VOL.1 —〈50分〉—

ロック — 岡本民とサ・ストライキ

フリージャズとおどり 〜 山本公成とデカルコ・マリ
& 小西一平

フォーク 〜 平田 隆

2:30 おどり&うた 花柳灯舟 —〈20分〉—

2:50 一分間アピール —〈15分〉—

3:10 スライド〈東アジア反日武装戦線の軌跡〉 —〈20分〉—

3:40 支那産アピール —〈5分〉—

休憩 — 10分 —

4:00 シンポジウム〈東アジア反日武装戦線と私〉 —〈60分〉—

5:00 一分間アピール —〈15分〉—

5:15 コンサート VOL.2 —〈80分〉—

ロック 〜 悩細胞バンド —〈15分〉—

フォーク 〜 中川五郎 —〈15分〉—

豊田勇造 —〈15分〉—

ホンヨンウン —〈15分〉—

6:35 一分間アピール —〈15分〉—

6:50 獄中者メッセージ —〈25分〉—

7:30 交流会 —〈60分〉—

オ一部

オ二部

アンケート

男		職業
女	オ	

Ⅱ) 今日の集会を何で知りましたか。

- ⅰ) ビラ ⅱ) ポスター ⅲ) 友人 ⅳ) 新聞
 ⅴ) 雑誌など() ⅵ) その他()

②) あなたにとって今日の集会はどうでしたか。

- ⅰ) よかった。 ⅱ) まあまあ、 ⅲ) よくなかった。
 ⅳ) その他()

③) とくに印象に残ったプログラムは、

- (1) (2)

④) ご意見、感想、お気付の点などあれば、裏に書いて下さい。

★“支援連ニュース”を購読していませんか。

(展示コーナーで販売しています)

-----キリトリ線-----

支援連ニュース 申込み

⑧ 年間(送共) ¥1200 添付

住所	
氏名	

⑨ (不用のときは、斜線をひいて下さい)

～ ハラハラ交流会 ～

ハラハラ 弁当 申込

弁当 および 飲物として

酒	ビール	ジュース	いずれか 一つに 〇印を

を申込みます。

¥700.- を添えて。



★ 3時までには受付へ。(時間厳守で)

ハラハラ交流会

1982.9.5

弁当引換券

キリトリ線

¥7時30分より

この券で
弁当及び飲物を
おめたします。

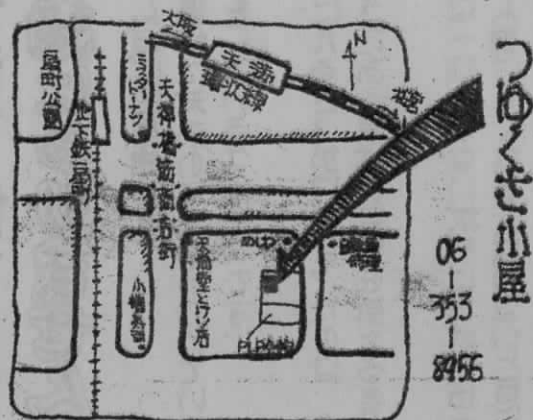
飲物は

酒	ビール	ジュース

～たんぽぽ図書館の定例会～

※2、※4木曜日はつゆくさ小屋で6:30から
(下図参照)

※1、※3木曜日はメンバー宅で
(天王寺 06-647-4089)



たんぽぽ図書館

宝塚市宝塚郵便局私書箱2号

連絡先 06-647-4089(夜間)

9.5.82

たんぽぽ図書館



ハロハロ大集会

に来られた人へ

たんぽぽ図書館でゝす

「一緒にやりませんか」

こんにちは、たんぽぽ図書館です。

私たちは、拘留所に未決のままとらわれている人々に本の差入れをしているグループです。

私がたんぽぽに入るまで、かけになったのは、拘留所から送られてきたある男性の無実を訴える長い手紙でした。

外部との連絡は一切できない状態にされた中で、傍面に近い取調べ・誰一人助けてくれる人はいないと思い込まされ、そんな絶望的な状況の中で所書までおりの自由をとり戻していく。



そんな彼の手紙を読んだいくつ、獄中での生活が、決して私たちと関係のない別世界のことでないんだというのを強く感じました。

そして、まだ「留置施設法案の「改正」というような話を聞く」ことも人々には、ほ、こわい、と気持ちです。

*

*

*

そんな中で、私たちにできることは何かですが、毎週木曜日に集まって獄中からの手紙を読んだり、返事を書いたりしています。又、公南館館舎を利用したり、るカ月に「ペンと手づくの」「たねはほ新聞」などして、正しいことばで、

いかにして、その言葉をこころに一度のこころにたどり着く。

私の死刑廃止論

16-219

桑原重夫

古人



9 月 10 日

会場 つゆくさ

主催 死刑制度廃止関西連絡
セ・ク-

PM 6:30

カンパ^o

360.

＜講師紹介＞ 桑原重夫さん

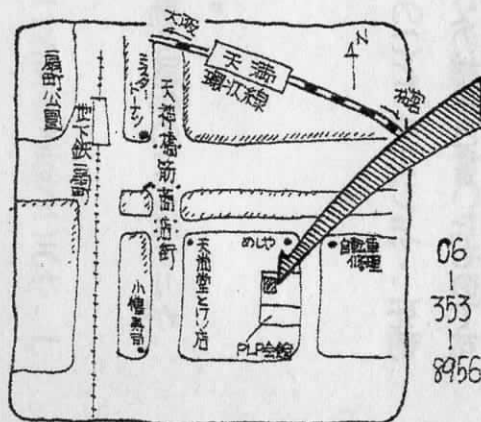
日本キリスト教団摂津富田教会牧師

自立的牧師連合所屬

反靖国・反天皇制連続講座実行委員会主宰

著書「日韓連帯へのみち」「右傾化の構造」

政治批判のレベルにとどまるのではなく、宗教批判から、さらに現代の批判に至るまでの問題意識をもち、幅広い分野で活動されている牧師さんです。



てゆく小唄

06
!
353
!
8956

06-8947

カミイ 「ギロチン」から

父は死なれて思たことのない死刑執行の現場を見たかったらしい。

父は夜の明けぬうちに起き、群衆の殺到するなかを過って、町の反対側のはずれにある刑場に赴いた。

その朝目撃したことを、父はだれにも言わなかった。私の母がわずかに語ったところでは、父は気も転倒した面持で、あわただしく戻ってきたかと思うと、口もきかずにしばらく寝台に横になり、たずまず嘔吐しはじめたようである。

うわべはいろいろと正派な文句でごまかされていて、その背後にひそむ重責の姿を、その時ほどめて目のあたりに見たからである。

そして、殺された子供たちのことを考えるどころか、「い今しがた台の上に投げたされ、首を斬り落されたあのひくひく動く屍体のことばかりが、頭にびびりこめていたのである。

——。——
この抄出は、

第一次世界大戦が始まる少し前のこと、アルジェで、死刑執行の現場を見た時のカミイの父の様子を書いたものです。死刑がみせしめなら、公開されるべきなのは、現在それません。もし、公開されたら、あなたは思たことを述べたが。

告 発 状

日本・日本人は

「加害者」であつて

「被害者」ではない

まづ、日本人について規定しなければなら
ない。

「日本人」と呼ばれるのは如何なる者達か
勿論、はなはだ簡単だ。

普通に「日本人」と呼ばれ、日本国籍を有
し、自分でも「日本人」と思っている者。

部落民もウチナワも「日本人」に違いない。

この場合、アイヌを「日本人」と呼ぶべき
かどうかは少し疑問がある。

部落民やウチナワは問題なく「日本人」だ。
なぜなら、

彼らは、かつて、朝鮮人や中国人に向つて

『私は、「部落民」「ウチナワ」であつて

「日本人」として処遇されていない』

とは言わなかつた。

部落民もウチナワも「日本人」として銃を
とり、「日本人」風を吹かせた。

皇軍の一員として殺戮にも加わ、つた。

ヒロシマ・ナガサキの被爆者もまた「日本
人」に違いない。

かれらの父・兄・夫・子らの多くは、戦線
に行つていたし、かれら自身もそれなりに、
銃後の一員として戦争に参加していた。

その戦争は

誰も否定することのできない侵略戦争だった。

念佛三昧の妙好人も、

けいけんなクリスチャンも

「日本人」と呼ばれる者のひとりだ。

非戦・戦争反対と唱えた、と稱する学者・

文化人達も、

そのほとんどは

「不利な戦争」に反対したゞだけだ。

戦争中及び戦後の経済発展の中で

「日本人」として、利益にあづかった者は

すべて「日本人」と呼ばれる

原 爆

ヒロシマ・ナガサキが

それぞれ一発の新型爆弾によって

一瞬の中に

この世の地獄となり

数十万の人命が奪われ

生き残った人達にも

むごたらしい被害を与えたことは事実だ。

だが、

その被害者達の父・兄・夫らが

日韓併合のとき

万才騒動のとき

また中国の各地でやったことは

「むごたらしくない」と言うか

朝鮮で何があつたかは

今日でも、あまり多く知られていないが

中国で

焼きつくし

殺しつくし

奪いつくし、したことは

原爆にくらべて

むごたらしくない、と言えるか

ヒロシマ・ナガサキでは

数万の朝鮮人が死に、数万の被爆者が残った。

しかし、それらの人達のこととは

つい数年前まで

誰の口の端にもものぼらなかった

長い間

原爆の被害者は、

日本人だけの様に言われて来た

しかも、これら朝鮮人の多くは

もともとヒロシマの住民でもなければ

「日本人」ですらない。

暴力的に

ヒロシマ・ナガサキに、連れて来られた者達
がほとんどだ。

考えて見よう

もし、ヒロシマ・ナガサキに新型爆弾が落
とされて、あの惨い被害がなかったら。

日本帝国の

あの無責任な戦争指導者たちは

あと数週間も戦争を続けただろう

そして、その間に

恐らく、百万にもものぼる

あるいはもっと多くの犠牲者が出たことだ
ろう

.....

.....

戦後の経済発展

戦後、日本は疑似的に「民主化」されアメリカの庇護のもとに

朝鮮とベトナムの犠牲を慈雨として再生し
ヒリピン・インドシナの資源を營養として
経済発展を続け

日米安保体制のもと

アメリカの寄国として

豊かな、経済大国となった

「日本人」の大多数は

日本は豊かで平和な国で

自分の生活は中流でマア／＼だ

と思い

なお一層豊かになりたい

と願っている

しかし、

日本人が豊かな生活を維持するために
誰を犠牲にし、

誰を踏みつけているか
を、考えようとはしない。

加害者と被害者

被爆者

残留孤児

横井某

小野田少尉

かれを「被害者」と呼ぶなら

誰が、かれらを被害者にしたのか

皇軍は、数百年あるいは数千にのぼる

ソンミ村を大陸各地に作り出し

南方に連れて行った朝鮮人の

軍人・軍属・労務者の中

廿万に近い未帰還者について

知らぬ顔をし

カラフトには四・五万の朝鮮人を

置き去りにして

あの人達は「もはや日本人ではない」から

責任はない

と、政府高官は放言し

自分達の手先きとして捕虜収容所で働かせ

た朝鮮人の下級兵士や軍属に

捕虜虐待の責めを負わせて戦犯とし

平和条約が結ばれると自分達だけに

恩赦と保障を行ない

「日本人ではない」者達については

ついに知らぬ顔

マスコミも文化人も

これらのことで

同じ「日本人」同志を責めることをせず

時とともに

やがては、何もなかったように平静な心で

正義や世界平和

人道主義について声高かに語り

ついに

「被害者」の様に

悲愴な声を張り上げて

「加害者」を糾弾しはじめ

いつぱしの反戦・平和運動の戦士のような

顔をしている

現在大流行の反戦・反核の運動の

先頭に立っている、ある者達は

かつて、軍に同行して討伐に赴き

占領の據点に寺を建て

みいづと仏日とを同時に輝かせようとした

かれらは、

また何時の日か

正義と世界平和のため

誰かに制裁を加えようとするだろう

今日も昨日も

正義のために斗って来たのだから

.....

.....

私は小さな声でつぶやく

日本人なんかに騙されるなよ

日本人達への最高の贈りもの

軽蔑と憎しみを送れ

.....

.....

日本人は

アメリカの一保護国として

分相應の

平和と豊かさに安住すればいいんだ。

後記

近時、反戦・反核の運動が世界的大流行となり、まさに猫も杓子もの感がある。

実際問題として、核大国が現実には核兵器を

使う意志があるか、またそれを使用した場合自分達、自国だけはその被害から免がれることができるのか等の問題があるが、いわゆる通常兵器による局地戦争は、その当事者にとつては核兵器の被害に較べて小さいとは言えない。

先進国による経済的侵略と資源の収奪は、後進国や資源国の人達の成長の可能性を奪うものだ。

「日本人」が、ほんとうに世界の平和と、人類を絶滅から免がれるために天に祈り地に訴え、ほんとうの「被害者」達と連帯して斗争とするなら、まづ「日本人」自身が、自分分は「加害者」であつて「被害者」ではないという絶対的な事実をハッキリと把握し、自

分自身が近隣諸国の人民達に与えた被害について、その責めを負うことから始めるべきだろう。

そうでないなら、もう一度も二度も原爆・水爆を日本人の上に投下して、真の意味での「被害者」にしなければならぬ。

もう二三発、日本に原爆が投下され、ばいんだ、と思つてゐる近隣アジア諸国の人々は意外に多いのだ。

それが反戦であれ、反核であれ「日本人」が「被害者」面して絶叫するのはやめた方がいい。運動がニセモノになるからだ。

豊かな先進国の人々の願う平和とは、「被害者」を「被害者」のまゝにしての「加害者」達のための平和以外の何ものでもない。

この様な、詞とも語とも録ともつかぬ有害な文書を配付することによつて、もとより多くもない友人？を失うはめになるであらうが、それもまたやむを得ぬことだ。

雑ばくではあるが、以上書いて来た事柄は全部絶対的な事実なのだ。

日本人、とくに自ら進歩的、良心的と自惚れる人達は、いろ／＼な人達や斗いに友好・支援・連帯を叫ぶのがお好きな様だが、自らが昨日も今日も「加害者」であり続けている絶対的事実を把握して、それからの転身を計らないかぎり、その叫ぶ友好や連帯は、テレビでナイター中継を見たら拍手するよりももっと無意味、無意味と言うよりも狼が羊に向つて「仲良しになろう」と叫ぶ様な恐ろしい、

警戒を要することである。

いまさら、とも思うが、私でも提起しなければ、誰もこれらの重く、あまり愉快でない事柄には誰も触れたがらず、その中に、あるいはもうすでに忘れ去られ、忘れ去られたままに、ニセモノの運動や斗いがほんもの、様に大きな顔をしてまかり通ることになる。

制作配布

一九八二年九月五日

在京都 宋斗会とその友人達の会